

報道関係者各位

株式会社PTP  
2009年8月11日

学習院大学・遠藤教授による

間メディア社会における情報連鎖と世論形成の学術的考察

## 「2009年夏の衆議院選挙の報道状況」をSPIDERで分析

株式会社 PTP（東京都渋谷区、代表取締役社長：有吉 昌康、以下：PTP）では、学習院大学・遠藤 薫教授が中心となって研究を行う「2009年夏の衆議院議員選挙の報道状況分析」を PTP が販売およびサービス提供する TV 全録・検索マシン「SPIDER PRO」を活用してサポートいたします。

遠藤教授が行う選挙報道分析では、氏が提唱する「間メディア社会<sup>(\*)</sup>におけるジャーナリズムと世論形成」の検証を目的に、新聞、テレビの選挙報道状況とネットメディアの動向、さらにブログや掲示板などの反響を総合的に考察し、総選挙に見る世論形成の概況が分析レポートとしてまとめられます。

この報道分析は、特定の報道機関の論調や特定政党の支持に偏ることなく、学術的な観点から中立的に分析するものであり、報道が過熱し、また広く国民の関心を集める総選挙を題材とすることで、日本における間メディア性の特徴を検証します。

また、まとめられた分析結果は、9月中旬に報道関係者に発表され、この結果を踏まえて、一般公開シンポジウム「間メディア社会における情報連鎖と世論形成－2009年衆議院選挙の報道分析」（参加無料）が開催される予定です。

この選挙報道分析に関して、株式会社 PTP と株式会社インテグレートが協力企業と開発を進める新聞・TV・ネットの総合的な報道分析手法「SPIDER レポート<sup>(\*)</sup>」を遠藤教授の報道分析ツールとして活用していただきます。

協力企業として、新聞メディアの分析ツールには株式会社エレクトロニック・ライブラリー、ネットメディアの分析ツールには、株式会社ホットリンクにご協力いただきます。

## 【「2009年夏の衆議院選挙の報道状況分析」 趣旨】

ネット選挙と呼ばれた2008年米大統領選挙では、既存マスメディアと新しいメディアであるインターネットとが相乗効果を挙げ、新しい時代の選挙情報流通が活性化されている様相が明白となりました。

日本においても、今回の衆議院議員総選挙では、yahoo!や楽天、Googleなどネット企業による政治参加意識を盛り上げる取り組みや、議員個人によるネットツールを介したコミュニケーションを行う動きが広がってきています。我が国でも、選挙と情報の関係を考えることは緊急の社会的課題です。

このような社会背景を受けて、本プロジェクトは、「政権選択選挙」と呼ばれて注目されている2009年総選挙において、新聞・TVやネットメディアの報道傾向の相互連鎖、さらにブログや掲示板などの動きを捉えた報道状況分析を行い、その社会的意味を検証します。

今回の選挙報道分析によって「メディアを超えた情報流通の連鎖」・「日本における米国式ネット選挙の萌芽」・「2009年総選挙と2005年小泉選挙との比較」の3点を中心に明らかにし、新しい時代の世論形成の構造、世論に影響を与えるジャーナリズムを考えるきっかけを探ります。

明らかになった事柄は、一般公開シンポジウムなどを通じて、広く社会の皆さまと共有したいと考えています。それが、私たちの社会をよりよいものにしていく議論の一助となれば幸いです。

本プロジェクトは、メディア研究に新たな地平を開き、混迷を続ける社会における公共圏のあり方を考えるフレームワークを提示して、公共の益に視することを目的とするものです。

## 選挙報道分析の概要

メディア研究の専門家である学習院大学教授の遠藤薫氏と、TV全録・検索マシンを提供する株式会社PTP、連鎖型IMCプランニング会社であるインテグレートが協力して「SPIDERレポート」を活用しながら総選挙の報道分析を行い、結果を発表する。

### 【運営体制】

- ・調査分析 遠藤 薫・学習院大学教授  
間メディア社会研究グループ
- ・調査分析サポート 株式会社PTP  
株式会社インテグレート
- ・協力 株式会社エレクトロニック・ライブラリー  
株式会社ホットリンク
- ・後援 情報通信学会 間メディア社会研究会  
日本社会情報学会 (\*調整中)

**【調査対象期間】**

7月12日（日）都議選投開票～8月30日（日）衆議院議員選挙投開票

**【発表スケジュール（予定）】**

9月上旬 分析結果速報の発表

9月中旬 分析結果の報道発表、および一般向けセミナーの開催

9月中旬以降 一般公開シンポジウム「間メディア社会における情報連鎖と世論形成～2009年衆議院選挙の報道分析」（参加無料）開催

### (\*1) 間メディア性／間メディア社会

対面、印刷、放送、電子ネットワークなど多元的メディアの相互作用の総体。  
新旧さまざまなメディアが相互に関連しあって世論を作り上げている複合的なメディア環境社会を「間メディア社会」と呼ぶ。

### (\*2) SPIDER レポート

株式会社 PTP と株式会社インテグレートが共同で開発を進める報道分析の手法。単体のメディアだけでなく、新聞、TV、雑誌、ネットなど各メディア間の情報の連鎖状況からコミュニケーション活動の影響・効果を分析する。

### 遠藤 薫氏

東京大学卒業、東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士(学術)。  
2003年より学習院大学法学部教授。日本学術会議連携会員、日本社会情報学会 (JASI) 前会長、日本社会情報学会 (JSIS) 副会長、情報通信学会副会長。  
専門は理論社会学、社会情報学、文化論、社会シミュレーション。  
著書に『間メディア社会と“世論”形成—TV・ネット・劇場社会』『インターネットと“世論”形成—間メディア的言説の連鎖と抗争』(東京電気大学出版局)『社会変動をどう捉えるか (シリーズ、近刊)』(勁草書房) など多数がある。

### 株式会社 PTP

1週間全てのTV放送を録画し、その内容をトピック単位で詳細に検索することができる機器「SPIDER PRO」を開発・販売している。2007年の「SPIDER PRO」の発売以降、瞬く間に大手企業に採用が広がり、300社の広報・宣伝のプロが利用するデファクトスタンダードとなった。一般家庭用の「SPIDER zero」を限定販売した昨年以降、テレビや雑誌などの多くのメディアで取り上げられている。代表の有吉は、Kellogg School of Management および野村総研出身でマーケティングの専門家。

### 株式会社インテグレート

2007年に設立した、IMC (統合マーケティング・コミュニケーション) プランニングを専門的に実践しているプランニング・ブティック。ビジネスコンサルティング機能と情報クリエイティブ機能を有し、販売や集客、商品企画などマーケティング領域に特化し、調査分析に基づいた事業シナリオ設計から、PR・AD・SP・WEB などまで、トータルにプランニングから実践までワンストップでサービスを提供する。

### **< 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 >**

株式会社 PTP 広報代理 株式会社コムデックス

担当：鈴木いづみ／市田

TEL.03-5771-3832／FAX.03-5771-3831